

情報センター事業へ

1億6千万円弱の繰入金

●情報センター事業

加入状況は、年度末現在で、告知端末が39世帯減少し4853世帯で加入率96・3%。ケーブルテレビが54世帯増加し2297世帯で加入率45・6%。インターネットが63世帯増加し1404世帯で加入率27・9%。

○歳入総額

2億6010万円

収入未済額は46万円
前年度比2万円増。

・使用料及び加入料等

9656万円

昨年度より525万円の増。収入未済額は、46万円
で前年度と比べ2万円の増。

・繰入金

1億5645万円

内訳は、一般会計からの1億3900万円と基金からの、1745万円で、昨年度より1395万円の減。



“IWK”のシンボルマーク
(IT'S A WONDERFUL KUROSHIO TOWNの頭文字)

○歳出総額

2億6008万円

差引残額は2万円。
認定(多数)

Q 藤本 岩義議員

歳入の内、サービス提供使用料滞納繰越分の調定額41万円余は、昨年度の収入未済額より2千円余少ない。通常、同額になるべきだが、理由は、

また、訂正などをした場合は、業務報告書などへの記載や、決算報告での説明が必要と思うが、考え方は。

●水道事業

平成29年度の年間配水量は172万立方メートル弱で、対前年度比1・5%の減。年間給水量は138万立方メートル弱で、対前年度比1・7%の減となった。この主な要因は、給水人口の減。

今年度の建設改良事業の主な事業として、大方上水道基幹配水管新設工事、および佐賀簡水基幹管路更新工事、ならびに黒潮町水道事業中央監視装置整備工事等を行った。

○事業収益

2億2875万円

前年度比0・9%の増。

○事業費用

2億3017万円

前年度比2・1%増。

○当年度純損失

141万円

当年度は、資産減耗費、固定資産の除却の増により事業費用が増額となり、損益計算上は純損失を計上した。

認定(全員)

Q 森 治史議員

流動資産で未収金が1億953万円を挙げ、そこに貸倒引当金として1672万円がある。

この貸倒引当金を安易に不納欠損として貸倒引当金という形での処理は、問題になってくると思うのだが。

A 森田 建設課長

貸倒引当金については、平成26年度の公営企業法の改正で、このように予算上に計上することになっている。

引当金の計上基準は、不納欠損による損失に備えるためで、すべて不納決算処理をするものではなく、貸倒債権として、未納が3年以上経過した者を引き当てるとしている。

●給与等集中処理

水道事業会計を除く各会計の特別職、一般職の人員費を一括で処理しているもの。

○歳入総額・歳出総額共

15億1289万円

前年度比2710万円増。
認定(全員)

●漁業集落排水事業

平成29年度末の加入世帯数は23戸で前年度と同数。

○歳入総額 497万円

○歳出総額 495万円

差引残額は2万円弱。
認定(全員)

●農業集落排水事業

平成29年度の新規加入は2戸だが、平成29年度末の加入世帯数は151戸と前年度と同じ。

○歳入総額 3833万円

使用料及び手数料の収入未済額は3万円で、昨年度より8万円弱減少。

○歳出総額 3772万円

差引残額は61万円。
認定(全員)

書類上では正確に管理しているが、業務報告等で見える形にできてなかった。今後、そのような形にしていきたい。